



(東アジアとの連携、ライフスタイル、etc の視点も加える)

	都 市	農 地	森 林	海洋・沿岸
自然との共生	<ul style="list-style-type: none"> ・国土や地球環境に対する過大な負荷（石油等の資源の消費、CO₂の発生、水資源の消費、大量の廃棄物） ・流域における水循環、土砂循環、物質循環に対する大きな負荷 ・海外への過度の依存 ・整序・集約後と自然環境の再生と保全 ・多様な主体の参画、適切に管理された都市の自然、質の高い都市環境の形成 ・既存ストックの活用、体系的な自然環境の保全・再生、生物多様性の維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・国内農産物活用は、海外資源への過度の依存是正の観点から重要 ・流域の水循環、土砂循環、物質循環にとって重要な要素 ・日本の気候風土と調和した良好な二次的自然として、重視 ・里地において二次的自然劣化の懸念 ・農業活性化による農地管理 ・農業利用が見込めない耕作放棄地の適切な植林などにより、二次的自然の保全・再生 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外資源への過度の依存是正 ・CO₂吸収源 ・流域の水循環、土砂循環、物質循環における重要な要素 ・豊かな生態系をはぐくむ場 ・二次的自然の劣化防止・保全・再生（林業活性化、所要の森林整備） ・適切に管理された人工林は、良好な自然環境 ・林業を通じた管理が困難な森林について、ゆるやかな再自然化 	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂・物質・水の循環の観点が重要、海岸侵食は流域と一体で検討すべき ・水産資源の持続可能な利用のため漁獲努力量の削減、積極的な資源培養、漁場環境の保全を総合的に推進 ・CO₂吸収源 ・二次的自然の劣化、適切な維持・管理 ・自然海岸・藻場・干潟・サンゴ礁等の保全・再生 ・海岸・海底清掃活動、植樹活動等を通じた海洋環境や生態系の保全
減災に向けた国土利用	<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用の計画に災害リスク情報を反映、計画策定過程を通じ自助意識醸成 ・災害リスクの高い箇所からの漸進的な撤退、所要の土地利用規制・誘導 ・空地での防災拠点の整備、低未利用地を活用した地域防災力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の国土保全機能 ・都市内農地・都市近郊農地は、災害時のオープンスペースを提供 ・災害外力と宅地等とのバッファー機能 	<ul style="list-style-type: none"> ・水源涵養、土砂流出防止等、国土保全上も重要な役割 ・風水害に強い森林の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・高潮・高波、津波、地球温暖化に伴う海面上昇等に対しては、沿岸域の住まい方と併せて土地利用を通じた減災の考えが必要
美しいランドスケープの形成	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史や文化の保全・継承、優れた都市景観の形成、調和のとれた町並み ・多様な主体の関与 	<ul style="list-style-type: none"> ・棚田等の農村風景、自然環境と人間活動の調和、散居集落の景観は土地利用の機能美、日本の原風景 	<ul style="list-style-type: none"> ・優れた自然景観、よく手入れされた人工林の美しさと心地よさを醸し出す森林 ・山村風景や農村風景の背景として調和した里山の美しさ、伝統芸能、文化 	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸・海底清掃等の取組、規制的手法などの適用による景観の保全 ・漁村の過疎化・高齢化、美しいランドスケープの担い手の喪失